

ちちぶ

市議会だより

2026.5.10

第84号



「秩父の灯」

秩父高校 写真部 2年生

阿部 実悠さんの作品

目次

3月定例会の議案質疑	2
議案の結果	5
委員会報告	6
一般質問	8

3月定例会の議案質疑等の内容

3月定例会(2月25日から3月17日まで開催)では、市長提出議案46件のほか、議員提出議案3件を審議しました。質疑・討論の主な内容は下記のとおりです。議案の結果については、5ページをご覧ください。

8年度一般会計予算

問 高齢者世帯等のごみ出し支援事業について、ごみステーション購入等85万8千円とのことだが、ごみステーションの設置場所は。

答 専用のごみボックスを本庁舎、各総合支所に各1基設置する。自力でごみを所定のごみステーションに出すことができない高齢世帯等の親族訪問介護員等が、曜日および時間の制約なくごみ出しができるよう支援していく。

問 青少年海外派遣事業補助金100万円の内容は。

答 姉妹都市であるアメリカ・アンチオック市への派遣事業として、中学2・3年生10人に各10万円を補助するもの。2週間の滞在を予定している。

問 秩父文学祭負担金について、7年度80万円に対し、8年度1千万円と大幅な増額の理由は。

答 7年度は事業費の大半を西武不動産に負担いただいたが、新たな秩父の観光コンテンツとして期待できることから、今後も継続的に開催していくために、市も積極的に関与すべきと判断し予算計上した。企業版ふるさと納税により500万円の寄附を見込んでおり、実質的な負担は500万円。秩父のブランド力を向上させ、新たな魅力を創出する産学官連携事業として定着させていけるよう努めたい。

問 基金繰入や市債発行が将来負担に与える影響は。自主財源比率向上に向けた具体策はあるか。また、人口減少対策の成果指標や数値目標は。事業の選択と集中はどのように進められたのか。

答 基金繰入や市債発行は将来世代への負担とならないよう調整しており、自主財源比率向上のため、収納率改善やふるさと納税の増額などに取組んでいく。人口減少や将来負担を考慮し、事業の選択と集中を徹底し、全職員へ業務見直しの周知を行い、必要な事業を効率的に実施していく。今後も継続的に見直しを行い、将来世代に過度な負担をかけない予算編成を目指していく。

問 秩父駅東側再開発基本構想策定委託料2400万円の内容は。



の様子(本庁舎4階)

答 長尾根バイパスの事業化、秩父陸橋の平面化により、秩父駅東側の再開発が可能となったことや、(仮称)宮地横瀬線の整備を検討する状況となったこと、旧秩父セメント第一工場跡地が市立病院の最有力建設候補地に選定されたことに伴い、秩父駅東側エリアを中心とした、中心市街地におけるまちづくりについて市の考え方を示す基本構想を策定するもの。なお、病院建設にあたり、旧秩父セメント第一工場跡地の用途地域が工業地域であるため、都市計画変更手続きの基礎資料としても活用できるものとして策定する。

問 (仮称)若者会議50万円の内容は。

答 市内在住・在学・在勤の15歳から25歳までの委員を15人程度募集、(仮称)若者会議を年10回程度開催し、若者の意見を市に提案していただく事業である。また、ちちぶ工房で若者が出演する番組を月1回放送し、若者が社会参加する機運を醸成したい。

問 荒川流域圏構想事業事務経費43万7千円の詳細は。

答 旅費、消耗品費、印刷製本費、会場借上料、負担金として計上している。下流域自治体等へ荒川流域圏構想への賛同や協力を呼びかけるための訪問、流域自治体や企業を招いてのシンポジウムを開催する。また、荒川流域圏構想の周知用チラシの印刷、イベントで配布する啓発品として秩父の水や木材を使用した品物の購入を予定している。

問 黒谷内田家住宅解体保存工事2750万円について、解体後の保存先とスケジュールは。

答 同地内に建物を建て、その中に再築の際に必要な部材を保存する。スケジュールについては、契約ができ次第早急に実施する。

問 がん患者用ウィッグ・胸部補正具等購入費助成金64万円の内容は。

答 購入費の2分の1、ウィッグ2万円、胸部補正具等1万円を上限に補助する。

問 敬老祝い金1923万円の内容は。

答 77歳に1万円、88歳に2万円、99歳に3万円をそれぞれ支給する。

8年度後期高齢者医療特別会計予算

討論

反対

厚生労働省は、マイナ保険証を巡り、後期高齢者への資格確認書の一律交付を見直すという。直近1年で6回以上かつ直近3か月にマイナ保険証の利用実績がある場合は、後期高齢者でも8月以降は資格確認書の交付を本人が申請しない限り交付しない方針という。例外として、マイナ保険証の保有の有無だけで交付の可否を判断する方式も選択肢として示し、判断は広域連合で行うとしていて地域で扱いに差が出る。また、更新を忘れると保険資格を確認できず無保険状態に陥る恐れがあるため、反対する。

科学大学へ2100万円の寄付を行い、東京科学大学はその寄附金を原資にちちぶ地域医療システム学講座という研究講座を設け、総合診療科の専門医取得を目指す医師1人を市立病院へ常勤で派遣する。さらに、その講座の担当教授である指導医1人を非常勤で週1日派遣する内容となっている。

8年度市立病院事業会計予算

問 東京科学大学寄附講座寄附金2100万円の内容は。

答 一般的に寄附講座とは大学への寄附金で、大学で最先端のテーマを研究し、その教員人件費や研究費を賄う産学連携の制度である。今回、市立病院では医師確保の観点から埼玉県の支援を受け、東京

7年度一般会計補正予算(第7回)

問 ふるさと納税事務委託料2472万5千円の増額とのことだが、7年度の委託料総額と、ふるさと納税の歳入予定額は。

答 各ポータルサイトの掲載料、秩父地域おもてなし観光公社の事務代行手数料、返礼品の代金等の総額は1億4294万6千円で、ふるさと納税額は3億円を見込んでいる。

問 畜産飼料価格高騰緊急対策補助金2500万円の交付先、補助率は。

答 市内の畜産業を営む農家14件に対し、7年中に購入した飼料への補助で、補助率は補助対象経費の10%である。

問 原料米等価格高騰緊急経済対策補助金1500万円の交付先は。

答 加工用米等の購入費の一部を補助するもので、清酒製造業2社、米菓製造業等20社程度を想定している。

問 予防接種事業の増額は、7年12月末に終了した带状疱疹予防接種事業の追加予算であるとのことだが、最終的にこの事業の利用者は何人となったのか。

答 6年10月から開始した带状疱疹予防接種事業の利用者は、6年度が648件、7年度が995件、合計1743件となっている。

問 新たな国庫補助金である地域未来交付金として、防災情報伝達事業災害対応備品2165万円の詳細は。

答 能登半島地震の教訓がベースとなっており、暑さ寒さ対策、快適なトイレ環境、プライバシーの確保など、災害時の避難生活の環境改善に必要な資機材を整備することに對して支援をするものとなっており、今回は暑さ寒さ対策として避難所で使用するスリッパ25台、ジェツ



3月定例会本会議

トヒーター22台、また7年度に購入したトイレトレーラーの補助的な役割として、障がいのある方や車椅子の方が利用しやすい仮設トイレを2台購入し、トイレトレーラーと併用することでなたでも利用しやすい快適なトイレ環境を整備する。また災害発生時の避難所内でのプライバシー対策として簡易テントを80個購入。秩父広域水道局が推奨する組立式給水タンクを4基購入し、本庁舎と各総合支所へそれぞれ配備し、非常時の飲料水の円滑な確保と途切れない給水環境を整備する。

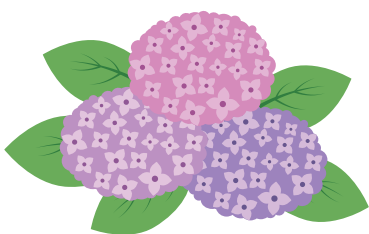
問 中学校卒業祝金932万円の詳細は。

答 中学校の卒業は義務教育終了の大きな節目であり、高校進学など次のステージに進むにも一定の費用がかかることなどから、卒業をお祝いすると共に子育て世帯に新たに経済支援を行うため、8年3月に中学校を卒業する生徒466人で一人当たり2万円の交付を行う。

工事請負契約の締結(原谷小学校校舎等)外部大規模改造工事

問 大規模改造の内容、工期および安全対策の内容は。

答 工事内容は、屋上防水や外壁の改修のほか、複合施設である温水プールや公民館も同時に行う予定である。工期は契約日から9年1月29日までを見込んでおり、夏休み期間だけでは完了せず、施工状況や働き方改革に伴う制限も考慮し、具体的なスケジュールは受注者と協議のうえ決定する。安全対策としては、工事動線と利用者動線を分離し、必要に応じて交通誘導員を配置するなど、受注者と十分協議のうえ、安全を確保して施工する。



公共施設等総合管理計画の変更

趣旨 総務省通知「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針」の改定に伴い、変更するもの。

問 この計画変更は、総務省指針改訂への形式的対応なのか。それとも、市として将来の施設総量や財政負担を踏まえた実質的な見直しなのか。

答 この計画は、平成27年の策定から10年を経過したことから、総務省指針改訂への対応として変更するもので、施設の利用状況や維持管理経費を可視化し、物価高騰も踏まえつつ、財政状況を考慮して、延床面積の約5%削減を目標に、市民の協力のもと進めていくものである。

市営バス条例の一部改正

趣旨 8年3月31日をもって市営バス川又線を廃止するもの。

問 川又線の現在の乗降者数は。また、利用者に対する廃止の経緯説明や理解はどのように図っているのか。

答 川又線の7年度の利用者数は、8年2月23日時点で延べ846人、1日平均約2・6人、1便あたり約0・4人となっている。秩父地域公共交通計画に基づき、4年度から大滝地域内の公共交通再編施策により川又線の廃止を検討し、

大滝地区の関係団体とも協議を重ねてきた。各区長会や理事会等を通じて丁寧に説明し、ご理解をいただいているものと認識している。

地域生活交通条例

趣旨 市営バス川又線の廃止に伴い、大滝地域の交通空白地における市民等の交通手段を確保するため、地域生活交通を維持するもの。

問 路線廃止への対応にとどまらず、将来にわたり地域生活交通を維持する制度なのか。また、財源確保や利用者減少時の対応、状況変化に応じた見直しや、デマンド交通など新たな仕組みへの展開はどのように考えているのか。

答 単なる路線廃止への対応にとどまらず、将来にわたり地域生活交通を維持する制度である。地域公共交通計画に基づき、大滝地域では国保診療所の送迎バス運行など、状況に応じた対策を講じており、必要に応じて公共交通協議会で検討・承認を得たうえで実施している。財政面や利用者減少への対応については、運転業務を集落支援員が兼務するなど効率的に運営し、課題が生じた場合は関係機関と協議して対応していく。将来的に事業者委託が可能な制度としており、地域公共交通協議会と連携しながら柔軟に検討していく。

国民健康保険税条例の一部改正

討論

反対

この改正は、12年度の完全統一を目指し、国保税の値上げをするもので、賦課方式を2方式にするものである。また、4月から始まる子ども・子育て支援金に充てるために国保税に上乘せして1世帯あたり約300円が徴収される。4月から始まる「こども誰でも通園制度」の財源も市民に求めるもので、またしても負担増を強いるやり方に反対する。軍事費を積み増す国のやり方を改め、子育て支援は国の責任でやるべきである。まず保育士の待遇改善をすべきと考え、反対する。

介護保険条例の一部改正

討論

反対

国の税改正で、8年度は第一号被保険者の給与所得の控除額が55万円から65万円に引き上がる。介護事業運営に影響が出ることで、税改正前の控除額を用いることで引き下げとならない市民が出る見込みであるため、反対する。

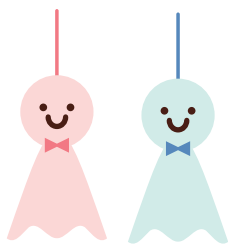
意見書

3月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書1件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

ゲノム編集技術を応用した食品情報の取扱いに関する意見書

国においては、消費者の自主的かつ合理的な選択の機会を確保するため、引き続き知見の集約等に努め、ゲノム編集技術に関する理解醸成を進めるとともに、ゲノム編集技術を応用した食品及びそれを原材料とする加工食品の表示等を含めた消費者への情報提供の在り方について、さらなる検討を行うよう強く要望する。




3月定例会で審議した議案の結果

	議案の件名	議決結果	会派ごとの賛否						
			市民 6人	まほ 5人	公明 2人	新政 1人	無会派 出浦 黒澤		
如 分	一般会計補正予算(第6回)	承認	○	○	○	○	○	○	
	そ 他	財産の取得(追認)	原案可決	○	○	○	○	○	○
		市道路線の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○
		市道路線の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○
		市道路線の廃止	原案可決	○	○	○	○	○	○
		第3次秩父市総合振興計画基本構想の策定	原案可決	○	○	○	○	○	○
		横瀬町、皆野町、長瀬町及び小鹿野町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○
		過疎地域持続的発展計画の策定	原案可決	○	○	○	○	○	○
		公共施設等総合管理計画の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○
		工事請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○	○
		条 例	手数料徴収条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
	行政組織条例の一部改正		原案可決	○	○	○	○	○	○
市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	原案可決		○	○	○	○	○	○	
一般職員の給与に関する条例等の一部改正	原案可決		○	○	○	○	○	○	
市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正	原案可決		○	○	○	○	○	○	
監査委員に関する条例等の一部改正	原案可決		○	○	○	○	○	○	
市営バス条例の一部改正	原案可決		○	○	○	○	○	○	
国民健康保険条例の一部改正	原案可決		○	○	○	○	×	○	
農業集落排水処理施設条例等の一部改正	原案可決		○	○	○	○	○	○	
地場産業センター条例の一部改正	原案可決		○	○	○	○	○	○	
学校設置条例の一部改正	原案可決		○	○	○	○	○	○	
介護保険条例の一部改正	原案可決		○	○	○	○	×	○	
乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決		○	○	○	○	×	○	
特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	原案可決		○	○	○	○	×	○	
地域生活交通条例	原案可決		○	○	○	○	○	○	

	議案の件名	議決結果	会派ごとの賛否						
			市民 6人	まほ 5人	公明 2人	新政 1人	無会派 出浦 黒澤		
令 和 7 年 度 補 正 予 算	一般会計補正予算(第7回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	国民健康保険特別会計補正予算(第4回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	介護保険特別会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市立病院事業会計補正予算(第4回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	下水道事業会計補正予算(第3回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	
令 和 8 年 度 予 算	一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	○	
	国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	○	
	後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	○	
	介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	×	○	
	公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	駐車場事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市立病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	人 事 案 件	固定資産評価審査委員会委員(戸井田 修氏)の選任	同意	○	○	○	○	○	○
		固定資産評価審査委員会委員(山崎克則氏)の選任	同意	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員(渡辺智信氏)の選任		同意	○	○	○	○	○	○	
固定資産評価審査委員会委員(山中令子氏)の選任		同意	○	○	○	○	○	○	
教育委員会委員(浅海純一氏)の任命		同意	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者(池田和美氏)の推薦		同意	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者(小池正一氏)の推薦	同意	○	○	○	○	○	○		
議 員 提 出 議 案	ゲノム編集技術を応用した食品情報の取扱いに関する意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市議会委員会条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	
	市議会議員政治倫理条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	

○：賛成 ×：反対

市民：市民クラブ まほ：まほろば 公明：公明党 新政：新政ちちぶ
 無会派：会派に属さない議員 ※議長は人数に含まれていない。



人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任、教育委員会委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

固定資産評価審査委員会委員

戸井田 修 氏

山崎 克則 氏

渡辺 智信 氏

山中 令子 氏

教育委員会委員

浅海 純一 氏

人権擁護委員候補者

池田 和美 氏

小池 正一 氏

常任委員会の報告

まちづくり委員会

3月定例会で付託された議案12件について報告する。

◆財産の取得(追認)

◆市道路線の認定

◆市道路線の変更

◆市道路線の廃止

◆農業集落排水処理施設条例等の一部改正

◆地場産業センター条例の一部改正

◆貸し出し用会議室として設定した金額の算出根拠は。

【答】すでに貸し出しを行っている同階の会議室の1平方メートル単価を基準に算定しており、その単価に面積を掛けたものである。

◆7年度一般会計補正予算(第7回)

◎企業支援事業、生産性向上サポート補助金の詳細は。

【答】この補助金は、物価高騰や賃上げ、人材不足の影響を受ける市内中小企業等を対象に、省力化に向けた取り組みや設備導入、新サービス開発に要する経費の一部を補助し、生産性向上と賃上げ環境の整備を図るものであり、経営革新計画、先端設備導入計画、経営力向上計画の策定を条件として、設備導入経費の2分の1を補助する予定で、補助上限額は経営革新計画認定事業者が30万円、先端設備導入計画および経営力向上計画

認定事業者が50万円である。

◆7年度下水道事業会計補正予算(第3回)

◆8年度一般会計予算

◎創業支援事業、ふるさとものづくり支援事業補助金の内容は。

【答】この補助金は、一般財団法人地域総合整備財団の制度を活用し、地域資源を活用した新商品の開発・製造・販売を行う事業所に対し補助を行うもので、吉田地域で創業した事業者が清酒や焼酎ベースのクラフトスパークリングリキユール等の開発に必要な機器導入、専門家による技術指導・品質設計、ブランド認知拡大のためのプロモーションなどを行う事業を対象としている。

◆8年度公設地方卸売市場特別会計予算

◆8年度駐車事業特別会計予算

◆8年度下水道事業会計予算

○以上12件は原案のとおり可決



文教福祉委員会

3月定例会で付託された議案16件について報告する。

◆財産の取得(追認)

◆国民健康保険条例の一部改正

◆学校設置条例の一部改正

◎荒川西小学校の閉校にあたり、地域住民への説明はどのようになされたのか。

【答】大滝小学校・中学校の際は市の主導であったが、今回はPTAの総意ということ要望書をいただいた。荒川西小学校で行われた学校運営協議会の意見を基に教育委員会が協議した結果、地域住民には回覧板により周知した。

◆介護保険条例の一部改正

◆乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

◆7年度一般会計補正予算(第7回)

◎市立病院建設準備事業に関し、最有力建設候補地が決定したことに伴い、今後のスケジュールは。

【答】秩父駅東側再開発基本構想の策定が始まるので、連動して用途地域の変更や、さまざまな諸条件の協議等を重ね、なるべく早期に建設予定地を決定し、設計、着工へと順次移っていききたい。現段階

では、スケジュール等の正確な時期は未定となるが、なるべく早期に進捗できるように努めていく。

◆7年度国民健康保険特別会計補正予算(第4回)

◆7年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)

◆7年度介護保険特別会計補正予算(第3回)

◆7年度市立病院事業会計補正予算(第4回)

◆8年度一般会計予算

◎文化財保護保存事業の秩父祭屋台保存修理工事2505万8千円の内容は。

【答】中近笠鉾の大屋根、隅屋根、破風の屋根の漆工事で、面積が広く、大きな金額となっている。

◆7年度までであったPTA活動推進事業がなくなっている理由は。

【答】秩父地区PTA連合会の事務局として、会計年度任用職員の報酬等を計上していたが、秩父地区PTA連合会が7年度末をもって解散するため、新年度予算には計上していない。

◆8年度国民健康保険特別会計予算

◆8年度後期高齢者医療特別会計予算

◆8年度介護保険特別会計予算

◆8年度市立病院事業会計予算

○以上16件は原案のとおり可決

総務委員会

3月定例会で付託された議案16件について報告する。

◆**専決処分 7年度一般会計補正予算(第6回)**

○承認

◆**財産の取得(追認)**

◆**横瀬町、皆野町、長瀬町および小鹿野町とのちび定住自立圏形成協定書の変更**

◆**過疎地域持続的発展計画の策定**

問 荒川・古池地区の水道事業を市が実施するとなつた場合、過疎債が適用できるということか。

答 今回、過疎計画の見直しにおいて、過疎債を使えば財政上有利ではないかと考え計画に入れているが、実際にこの事業に過疎債が使えるかどうかは県や国への手続きがあり、その手続きを経ないと結果は分からない。活用できる可能性を残しておくという意味で、今回の計画に入れている。

◆**公共施設等総合管理計画の変更**

問 2045年までに35%削減をしていく計画であるが、ロードマップはあるのか。

答 2年ごとに検証、見直しを行う個別施設計画に基づいて、効率的な機能の集約化に努め、使用しない施設、利用率の低い施設は譲渡や廃止を行うことで、面積削減に努めていきたい。

◆**工事請負契約の締結**

◆**手数料徴収条例の一部改正**

◆**行政組織条例の一部改正**

◆**市議会の議員の議員報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正**

問 特別職の報酬審議会は何回開催されたのか。また、答申内容は。

答 報酬審議会は、全部で4回開催した。答申の内容については、市長、副市長、教育長の特別職については据え置き、議員報酬については、一律1万2千円の増額とすべきという結果であった。

◆**一般職職員の給与に関する条例等の一部改正**

◆**市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正**

◆**監査委員に関する条例等の一部改正**

◆**市営バス条例の一部改正**

◆**地域生活交通条例**

◆**7年度一般会計補正予算(第7回)**

問 文化体育センター第2アリーナ大規模改修工事設計業務委託料の入札の経緯は。

答 5年度に1度、6年度に2度入札を行ったが、いずれも不調に終わった。7年度は予算を増額し、落札、契約することができたが、第2アリーナの大規模改修工事には、約8億円の費用を要することが判明した。旧耐震基準で建てられた建物に費用をかけること、10年度には第1アリーナの大規模改修

修工事も控えていることなど、文化体育センター全体の今後のあり方を考えた場合に、ファシリテイマナジメントの観点から検討を要するのではないかとということ、8年度の工事費の予算計上は見送っている。



文化体育センター第2アリーナ

◆**8年度一般会計予算**

問 空き家解体を推進するために固定資産税の軽減措置を延長する考えは。

答 空き家実態調査を実施した中で、調査結果を見ながら、担当課と調整し、今後、検討していきたい。○以上15件は原案のとおり可決

特別委員会の報告

総合振興計画

調査特別委員会

総合振興計画調査特別委員会は、市の将来を担う総合振興計画を慎重に調査研究するため設置された。7年12月から、3回の委員会を開催し、よりわかりやすく、実効性のある計画となるよう担当課に対して検討を求めた。

主な指摘事項としては、基本計画に掲げる各種指標や目標値について、指標の設定方法や分かりやすさ、実現可能性などの観点から意見が出され、担当課において内容の整理や見直しを行った。また、下位計画を含めた市の各種計画を分かりやすく表示できないかとの提案に対し、計画の巻末およびホームページにリンク集を掲載することに対応すると説明がされた。その後、3月定例会で議案として「第3次秩父市総合振興計画基本構想の策定について」が本委員会に付託され、市民への周知方法や公募委員の継続的な参画方針を確認し、審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定した。



議会改革特別委員会

議会改革特別委員会は、4年6月定例会で、人口減少、住民ニーズの多様化等、議会を取り巻く環境の変化が著しい中、その変化を的確にとらえ、議会改革を進め、議会の活性化に資することを目的に設置された。「開かれた議会」を目指すべく、20回の委員会を開催し、検討事項11件を協議、数々の議会改革を実施、実現し、3月定例会において終結とした。

◆主な協議事項

◆常任委員会の情報の公開

本会議と同様の録画中継については、設備、費用の面から時期尚早であるとの結論となったが、会議録については、費用面での負担も少なく、情報公開が進み全国的に積極的な公開が推進されていることを鑑み、公開が妥当であるとの結論となった。委員会の会議録は、委員会条例で議長保管となっているため、議長へ提言書を手交し、議長が議会運営委員会に諮り、6年6月定例会から委員会の会議録を公開すると決定した。

◆傍聴規則および委員会条例の改正

より気軽に本会議および委員会の傍聴にお越しいただける環境づくりのため、傍聴規則および委員会条例の改正について検討を行い、傍聴規則においては、傍聴の際の受付票の記入および傍聴券の交付

を不要とした。委員会条例についても、委員長の許可制となっていた傍聴を、「公開とする」に改正し、それに伴う条文の整理を行った。2つの条例改正案とも、6年6月定例会に議員提出議案として提出し、本会議において可決された。

◆議場内の水分補給

議場内での飲食は禁止されていたが、協議の結果、熱中症対策等の体調管理のための水分補給を可能とすることで意見が一致し、議長に提案するとともに、各派代表者会議および議会運営委員会に報告し、7年9月定例会から、議員および職員の議場内での水分補給を可能とした。また、傍聴者についても、傍聴規則の改正案を7年9月定例会に議員提出議案として提出し、本会議において可決された。

◆政治倫理条例の見直し

近年、議員の多種多様な不祥事がみられるようになり、政治とカネの問題に限らず、議員の職責にふさわしくない行為があつた際に、議会として何らかの対処をせざるを得ないようになってきたため、他市議会でも、規制目的や規制対象を多様化した政治倫理条例が制定されている。これを受け、政治倫理条例の政治倫理基準の事項を整理・追加することで意見が一致し、8年3月定例会に議員提出議案として提出し、本会議において可決された。

一般質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の写真の下にある二次元コードから、インターネット録画中継をご覧ください。

<p>① 本橋 貢 (公明党) p9</p> <p>1 がん検診の自治体把握 2 子どもの学力向上 3 防災拠点としての「新・道の駅ちちぶ」</p>	<p>⑤ 出浦 章恵 (無会派) p11</p> <p>1 保険あって介護なしとならない介護保険 2 地域包括支援センターの充実 3 市内全域のデマンドタクシー 4 保育料無償化</p>	<p>⑨ 高野 佳男 (まほろば) p13</p> <p>1 低入札価格調査制度の導入 2 令和8年度施政方針 3 合併20年の行政の広域化の実態と評価</p>
<p>② 小松 穂波 (新政ちちぶ) p9</p> <p>1 西武秩父駅周辺駐輪場の整備 2 大滝トンネル開通後に移管される国道 3 地域サロン活動事業への継続支援 4 清野市長の市政運営</p>	<p>⑥ 高野 宏 (市民クラブ) p11</p> <p>1 教育行政 2 民生・児童委員 3 町会活動 4 自転車の道路交通法改正</p>	<p>⑩ 内田 均 (まほろば) p13</p> <p>1 市有形文化財黒谷内田家住宅の保存 2 学校関係 3 秩父看護専門学校の今後 4 青少年育成会廃品回収での報奨金 他</p>
<p>③ 宮前 昌美 (市民クラブ) p10</p> <p>1 病中病後児保育支援 2 荒川総合運動公園周辺整備 3 活樹への取組</p>	<p>⑦ 坂本 勝幸 (まほろば) p12</p> <p>1 令和8年午年総開帳の観光問題への対応 2 公衆トイレの現状 3 高篠3号線・7号線の今後の予定 4 定峰峠のトンネル化</p>	<p>⑪ 浅海 忠 (市民クラブ) p14</p> <p>1 施政方針から 2 荒川西小学校の閉校と今後の対応 3 敬老入浴券の利用拡大</p>
<p>④ 木村 隆彦 (市民クラブ) p10</p> <p>1 土砂等の堆積による土壌の汚染の防止に関する条例 2 長尾根バイパスの現在の進捗状況 3 市立病院建設計画策定委員会の状況</p>	<p>⑧ 笠原 宏平 (まほろば) p12</p> <p>1 移住と空き家と遊休農地の活用 2 防犯灯、街路灯等の老朽化対策 3 高齢者や運転免許証返納者の移動手段 4 荒川久那地区の歩道整備工事の進捗状況</p>	

がん検診の自治体把握



公明党 本橋 貢
もとはし みつぎ



問 厚生労働省は8年4月から勤務先での受診も含めて住民のがん検診の受診歴を把握することを市区町村の努力義務とする通知を出した。どのように取り組むのか。

答 自治体検診のDXの推進によりマイナンバーを活用し、本人同意の下、正確な受診状況を把握する仕組みを11年度以降に導入する予定である。

●子どもの学力向上

問 文部科学省は「2024年度経年変化分析調査」の結果を7年7月に発表した。小6の国語・算数、中3の国語・数学・英語の5項目全てで前回よりスコアが低下した。今後の取り組みは。

答 この結果を市として真摯に受け止めるとともに、最重要課題であると認識し、学力向上に取り組んでいる。「秩父市学力向上推進プラン」を策定し、学力向上ミッションとして「子どもたちの未来の幸せのために」を掲げ、学校・家庭・地域が一体となり、学びを支える環境づくりを進める。

●防災拠点「新・道の駅ちぶ」

問 「新・道の駅ちぶ」構想と秩父陸橋平面化後の開発計画は。

答 道の駅は施設が老朽化しているが、改修・拡張には多額の予算が必要。まずは臨時駐車場等として利用している北側エリアを有効活用することを検討している。秩父駅東側開発計画は、8年度予算に継続費を設定し、8年度・9年度の2か年をかけて基本構想を策定する予定。また、以前より計画のあった(仮称)宮地横瀬線の整備の必要性も高まっている。



秩父陸橋の平面化・道の駅北側エリア

清野市長の市政運営



新政ちちぶ 小松 穂波
こまつ ほなみ



問 市長就任後に見えてきた市の課題と、令和8年度の市政運営へ抱負は。

答 市長就任後に開始した「タウンミーティング」などで市民の意見を聴き、医療・介護や子育て支援、地域経済の活性化や産業振興において、取り組むべき課題が数多くあることを再認識した。8年度は、合併20周年を迎えた市のこれまでの歩みを大切に継承しつつも、見直すべき習慣や仕組みは未来のために恐れず見直す。諸課題の解決に向け、タイムリングを逃さず、最大効率で市民サービスを届け、限られた資源を、徹底した「選択と集中」により、優先順位を定めて事業実施する必要がある。将来への一歩を踏み出すため、既存の枠組みにとらわれることなく、全ての事務事業を精査して「聖域なき行財政改革」を断行し、時代のニーズに即した事業へと大胆に転換していく。

●地域サロン活動事業

問 補助金事業終了後の地域サロン活動団体への事業継続の支援は。

答 継続して支援が必要な団体に

どのような支援が適当であるか、支援内容や支援方法等について検討していく。

●大滝トンネル開通後に移管される国道

問 市に移管された後に崩落などの災害が発生した場合、埼玉県への支援は。

答 移管後に災害が発生した場合の対応については、埼玉県の支援が受けられるよう協議している。



市長タウンミーティングの様子

◎西武秩父駅周辺駐輪場の整備

秩父市における「活樹」の取り組み

問 『第75回全国植樹祭』において大野知事が「活樹」という言葉を用いた。「森林を育てるだけでなく、豊かな森と川を未来へつなぐため、県産木材の利用拡大を重要施策として掲げ、都市と山村が連携した取組を強化していきたい。」とのことだが、市として今後どのように取り組むのか。また、秩父地域の間伐材を木材チップにし、紙の原料として使う「木になる紙」の今後の展開は。

答 荒川の最上流に位置する本市にとつて、森林整備と木材利用の促進は、「荒川流域圏構想」の核心をなす重要なテーマである。上流域と下流域が互いの課題を補完し合い、共に発展することを目指すものとして、「秩父の木を使うことが、荒川の水を守り、災害に強い流域を創る」という社会的な投資であることを流域自治体の首長や住民の皆さまに広く訴え続けていく。

「ちちぶの森の木になる紙」は、収益の一部が森林整備（所有者）へと還元される仕組みで、都市部に交付される森林環境譲与税の有効な活用手段となり得るものである。

市民クラブ

宮前 みやまえ

昌美 まさみ



り、今後強力にトップセールスを展開していきたい。

流域全体で「木を植える、育てる、使う、そしてまた植える」という健全なサイクルを循環させることは、下流域の浸水リスクの低減と、上流域の経済活性化を両立させるもので、荒川流域のリーダーとして、市民や事業者の皆様とともに、この自然の恵みを次世代へ引き継いでいく。



「秩父市誕生20周年式典」の式次第は、秩父の間伐材を原料として使用

◎病児（病中病後児）保育支援
◎荒川総合運動公園周辺整備

長尾根バイパスの現在の進捗状況

問 4年度に国土交通省の新規事業に採択された一般国道140号長尾根バイパスは、蒔田から寺尾までの延長約3・8キロメートルのうちトンネル1キロメートルを整備するものである。現在の進捗状況は。

答 これまでに地形測量、道路本体設計、橋りょうの設計、トンネル部の地質調査および設計、用地測量を実施している。

問 ミューズパーク北口周辺の接続道路は国土交通省の事業採択時の事業概要図によると、公園橋北口交差点より佐久良橋側に寄った県道72号線に接続が予定されていたが、埼玉県の長尾根バイパスの整備概要の図面によると、県道208号線を交差し、秩父停車場秩父公園線へ直接接続する図面が示されている。現在、予定されている接続はどのようになるのか。

答 長尾根バイパスの終点は、当初の計画では、秩父公園橋に直接接続した場合、市街地で渋滞の懸念があったことから、市街地へのアクセスを分散させるため、秩父公園橋と佐久良橋の間の「県道秩父荒川線」に接続する計画であつ

市民クラブ

木村 きむら

隆彦 たかひこ



た。しかし、調査・設計を進める中で、昨年、秩父公園橋に直接接続するルート交通量の推計と主要交差点での交通解析を行った結果、市街地の交通量は増加するものの、軽易な対策により対応可能であることを確認したため、現在は秩父公園橋に直接接続するルートにより設計を進めている。（事業主体である埼玉県西関東連絡道路建設事務所答弁抜粋）



トンネルはどのように接続するのでしょうか。

安心して暮らせるために

● 払える国民健康保険税

問 12年度までに完全統一を目指し、一般会計からの繰り入れを中止すると、試算ではモデルケースで約20万円程の値上げとなる。どれ程の値上げになるのか。市民への影響をどう考えているのか。

答 現行の保険税率と今回の改正税率を比較した場合の増額幅は4人世帯で、世帯主45歳、給与収入約430万円、所得額300万円、妻45歳、収入無し、6歳以上の子2人の場合、現行税率では44万円、改正税率では57万6500円となり、年額13万6500円の増額となる。財政収支は赤字が続いており、このままでは安心して医療を受けられる現在の制度の維持ができなくなる恐れがある。

問 値上げになれば今以上に滞納者が増大することが予想されるが、

答 収納率の低下は懸念される。

問 税率を県内統一とするなら、同様の医療水準にならないれば市民の納得は得られないのでは。

答 県では不足する医療資源は3次保健医療圏として県全体で機能が発揮できるよう医療体制整備を進めている。急性期脳卒中治療



無党派
出浦 章恵
あきひろ ともみ



ネットワークシステムをはじめとして、緊急治療を要する患者を救急隊の判断により高度治療のできる医療機関に直接搬送する仕組みが構築されている。また、緊急の場合、秩父地域の患者が二次救急医療機関から迅速に三次救急医療機関に受け入れられるよう、病院同士の連携強化にも取り組んでいる。報道によれば県の8年度当初予算案には、秩父地域の医療支援体制を強化する事業が複数取り上げられている。

表1 子ども・子育て支援金の加入者1人当たり平均月額額の試算

	2026年度	2027年度	2028年度
全制度平均	250円	350円	450円
協会けんぽ	250円	350円	450円
健保組合	300円	400円	500円
共済組合	350円	450円	600円
市町村国保	250円	300円	400円
後期高齢者	200円	250円	350円

※厚生労働省の説明資料より作成。加入者は家族を含む

市道への防犯カメラ設置

問 最近では物騒な事件が増えており、犯罪の抑止力を高めるためには防犯カメラが有効である。個人や町会で設置するには経済的負担が大きく、市道や公共の建物など市が主導して、防犯カメラを設置すべきと考えるが。

答 全国的に刑法犯罪が増加している中、市においても、7年の刑法犯罪の認知件数は、前年比17件増の299件となっている。既に市道に防犯カメラを設置している自治体があることは承知している。防犯カメラを市道に設置することで犯罪の抑止効果が期待されるほか、犯罪が発生した場合には証拠となる映像を記録できるため、取り締まりや捜査に役立つ可能性がある。一方で市道に設置することは、個人のプライバシーに影響を及ぼすことから、設置場所や運用方法を慎重に議論する必要がある。また、記録したデータの管理運用も配慮が必要であり、維持管理の費用も考慮しなければならない。市では、5年度から県内で初めて家庭用防犯カメラの設置に対し補助金を交付しており、3年間で120世帯が補助金を利用し設置し



市民クラブ
高野 宏
たかの ひろし



ている。引き続き、市民の安全を守るため、家庭用防犯カメラのさらなる普及により、地域の監視の目を増やし、安心・安全なまちづくりにつなげていく。



防犯カメラ
作動中

- ◎ 小中学校登下校時の安全対策
- ◎ 小中学校保護者への助成事業
- ◎ 中学校部活動地域展開
- ◎ 民生・児童委員の現状等
- ◎ 公会堂・集会所建替え、補修
- ◎ 自転車の道路交通法改正

午年総開帳に伴う 観光問題への対応

問 8年午年総開帳に伴う観光問題への対応は。

答 ゴミ問題、交通渋滞など全国各地の観光地でオーバートゥリズムの諸問題が発生している。しかし、秩父市は観光スポットが分散しているため大きな問題に至っていないが、今後も来訪者に対するマナーアップの呼びかけを図っていく。また、この貴重な機会を活かし秩父のPRに努めていく。

● 公衆トイレの現状は

問 市内各所の公衆トイレの洋式化の現状および今後の考えは。また、日中に照明の薄暗いトイレがあるがどのような対応が可能か。

答 生活衛生課で所管の公衆トイレは13か所あり計41器の便器がある。そのうち洋式便器は計26器で洋式化率は約63パーセントである。相応の費用が必要になるため、今後、利用状況や財政状況などから判断していく。また、照明は立地条件が異なるため個別に対応していく。

● 高篠3号線・7号線の今後の予定

まほろば **坂本 勝幸**
さかもと かつゆき



問 高篠3号線・7号線道路拡幅事業の進捗状況と今後の予定は。

答 6年度より道路用地取得を進めている。今後も用地取得完了に向け鋭意努力していく。

● 定峰峠のトンネル化

問 今後の取り組み予定は。

答 市では定峰峠トンネル化の事業評価を、地域医療体制強化・防災力向上・観光地へのアクセス向上など、秩父地域の特性を踏まえると必要であると考えているため、今後も粘り強く要望活動を継続していく。



午年総開帳札所1番 四萬部寺

合併20年、少子高齢化、 人口減少対策

問 移住検討者へ向けた空き家と遊休農地の活用は。

答 空き家活用施策では、ちちぶ定住自立圏の事業として宅建協会秩父支部と連携し「空き家バンク」を運営している。登録物件を移住者が購入した際、「空き家リフォーム助成金制度」で工事費の一部を助成している。また、遊休農地活用を望む移住検討者や家庭菜園を含む農業志望の方には、農地付き物件を紹介している。併せて、市内にある市民農園の案内もしている。

問 防犯灯、街路灯、道路照明灯の老朽化対策は。

答 柱などの腐食が見られた場合や撤去が必要な場合、または所有者が分からない場合は調査を行う。

問 荒川地域で駅やバス停が遠く、公共交通の利用が困難な高齢者や免許返納者への対応は。

答 現在、荒川地域の公共交通は秩父鉄道や路線バスがある。高齢者や免許返納者の移動手段確保は重要な課題であるため、デマンドタクシー等を含めた多様な可能性を秩父市地域公共交通協議会等で検討し、持続可能で利便性の高い

まほろば **笠原 宏平**
かさはら こうへい



公共交通を目指していく。

問 国道140号荒川久那地区の歩道拡幅工事の進捗状況は。

答 国道140号荒川久那地区の歩道整備と急カーブ緩和工事は、県営秩父つばきの森団地入口付近から久那橋交差点までの約450メートル区間で進めている。既に右側約270メートルが完成し、現在は残り130メートルの左側区間を施工中であり、8年3月末完成予定である。



ちかいなか®秩父
秩父市・横瀬町・皆野町
長瀬町・小鹿野町

人口減少下での公共行政 はいかにあるべきか

まほろば 高野 佳男



● 荒川流域圏構想

問 2050年には市の人口は現在の3分の2になり、約2人に1人が高齢者になると予測される。人口減少に伴い財政面では税収の低減が懸念される。低入札価格調査制度の導入によりダンピングの防止と低コストでの調達が可能になると考えるが。

答 事業の目的と来年度以降の具体的な事業内容は。また、国土交通省は1000年に一度の大雨で荒川が下流域で破堤、氾濫した場合、250万人の避難者が出ると試算しているが、本構想はそれを想定しているか。

答 低入札価格調査制度は入札額が最低制限価格である調査基準等価格を下回っても、調査の結果、履行可能となれば落札になる可能性はある。しかし、審査に必要な手続が複雑になり時間を要するため慎重に検討したい。

答 流域自治体の連携と防災などの諸課題の解決を目的とし、シンポジウム、広域避難ツアーなどの実施を検討している。また防災面では災害発生時の相互の応援体制の構築などを目指している。

● 新病院の建設候補地

問 基本計画策定はなぜ1年遅れになったのか。また旧秩父セメント第1工場跡地は都市計画法上、病院の建設は可能か。

答 7年度は病床数、診療機能などを検討したが、建設候補地選定の進捗状況からより現実的な工程にした。着工と開院の時期は未定。現在、候補地は工業地域のため用途変更の手続が必要である。

建設工事等入札結果比較表（秩父市／深谷市）

自治体名	秩父市	深谷市
調達案件名称	旧大滝国民健康保険 診療所解体工事	南中学校体育館 エアコン整備工事
開札日	2025/11/18	2025/05/13
予定価格（税抜）	90,410,000円	63,940,000円
調査基準等価格区分	最低制限価格	調査基準価格
調査基準等価格（税抜）	71,413,000円	58,824,800円
落札価格	74,500,000円 対調査基準等価格比： 104.3%	55,000,000円 対調査基準等価格比： 93.5%
調査限界価格	(NA)	52,500,000円

(*埼玉県入札情報公開システムから抽出)

入札方式の見直しでこれだけ変わる！

秩父市有形文化財 黒谷内田家住宅の保存

まほろば 内田 均



問 黒谷内田家住宅は、ビニールシートが剥がれ無残な状態であるが、今後の取り組みは。

答 8年度予算で解体工事を計上している。倒壊の危険性が高いことから、建物の各部材の保存が目的である。解体後は将来的な復元に向け準備を進める。保管場所は、現在の場所を考えている。

● 学校関係

問 購入から20年経つスクールバス買い替えの考えは。

答 買い替えの検討と生徒数に合わせた車両の配置換えを行う。

問 教職員の働き方改革に伴い、休日の部活動は地域クラブにいつから移行されるか。

答 8年4月より移行可能なクラブから移行し、8年12月をもって休日の中学校部活動は終了する。9年1月から地域クラブへ基本的に移行する。平日は学校での部活動を実施する。

● 秩父看護専門学校

問 秩父医師会から10年4月の閉校が発表されたが、今後の予定は。

答 看護学校の建物は市が譲り受

ける方向で検討を進めている。また、秩父地域の看護師確保は、秩父地域の自治体や医療機関と連携し、ちちぶ医療協議会等で検討を重ね、あらゆる手法で定着に取り組む。

● 青少年育成会廃品回収報奨金

問 今後の調査等により検討するとしていたが、進展は。

答 報奨金の単価を1キログラム当たり6円から8円へ引き上げる。有価物回収事業登録団体にアンケート結果などを知らせる。



秩父市有形文化財黒谷内田家住宅

荒川西小学校閉校

問 8年度末(9年3月末)で荒川西小学校は閉校し、荒川東小学校と統合することとなった。これまでの経緯は。

答 7年6月、荒川西小学校PTA会長から市長・教育長に対して、荒川西小学校と荒川東小学校との統合を望む要望書が提出され、教育委員会で学校統合に向けた協議を進めてきた。その結果、9年4月から荒川東小学校に統合することとし、条例改正議案を提出した。

問 8年度に実施する事業は。

答 主なものとして、荒川西小学校の閉校記念式典の開催、閉校記念誌の発行、閉校記念碑の建立などを行う。また、通学に必要なスクールバスを購入する予定。

学校統合が円滑に迎えられるよう、荒川西小学校の在校生保護者の不利益解消の観点から、荒川東小学校の体操服・名札などの学用品を教育委員会で一括購入し、各家庭にお渡しする。

統合による環境の変化に戸惑うことがないよう、各学期ごとに1回、両校の交流授業が予定されている。荒川西小学校では独自の閉校記念事業を開催する予定。

市民クラブ 浅海 忠



問 荒川地区で1小学校になる。校名は「荒川小学校」でもよいのでは。

答 仮に学校名が変更になると、校歌や校章等の変更にも、相当な期間と費用を要することが想定される。今回の統合では学校名の変更は行わず、引き続き荒川東小学校の名称を存続したいと考えている。学校名の変更については、今後の検討課題とする。



9年3月に閉校する荒川西小学校

市議会を傍聴してみませんか?

傍聴される際に、特別な手続きや事前の予約は必要ありません。傍聴を希望する日に、市役所本庁舎4階の「傍聴受付」にて、資料を受け取り、傍聴席にお入りください。

市政を知る機会として、ぜひ、お気軽にお越しください。

6月定例会の予定

6月定例会の日程については、4月19日の秩父市議会議員選挙により議員の改選が行われたため、現時点では未定です。

5月中旬頃には日程が決まりますので、ホームページでご確認いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

令和8年3月定例会が閉会しました。令和4年5月から4年の任期が満了となります。この紙面が発行される頃には、新しい市議会議員19名が選挙で選ばれ、新たな秩父市議会がスタートします。

地方自治の根幹である「二元代表制」の一翼を担う市議会の役割は、非常に大きい。市民の付託を受け、共に選挙で選ばれた「市長」と「市議会議員」。執行者である市長が提案する「政策(議案)」を精査し、「真に市民のため、地域のため、そして秩父市のために資する政策か」をチェック機関としての役割を果たす議会でありたい。単に目先の事案だけでなく、10年後、20年後の秩父市の将来を見据えた「全体感」を持った秩父市議会としての活躍を期待しています。

編集委員

委員長 本橋 均
副委員長 内田 章
委員 出浦 恵
黒澤 秀
小松 穂
宮前 美
宮川 浩
高野 司
浅海 忠

令和8年3月 浅海 忠 記

本橋 均
内田 章
出浦 恵
黒澤 秀
小松 穂
宮前 美
宮川 浩
高野 司
浅海 忠

